

地産地消弁当で恩返し

蘇南高生全国コンテスト優秀賞

南木曾

南木曾町の蘇南高校三年の石山優花さん(ひ)と松瀬凛々里さん(ひ)が、地産地消をテーマにした弁当のアイデアを募る「第九回お弁当コンテスト」で優秀賞を受賞した。地元の山菜イタドリや「かきぞれ味噌」を使ったオリジナルのメニューで、「十八年間育ててくれた南木曾に恩返しをしたい」との思いを込めた。

(戸田稔理)

石山さんと松瀬さんイタドリなど活用

二人は二〇二二年十二月から、総合的な探究の時間で興味があった地元食材について学び、「良さを広めて町の人を活気づけたい」と弁当の開発を思い付いた。

教員から学校裏でも生えているイタドリの存在を教えてもらい、さっそく調理。地元飲食店の手助けを得ながらさまざまな料理を試作し、イタドリ特有のシヤキシヤキとした食感が楽しめるギョーザや卵焼き、

味噌を使ったしそ巻きなど七品を完成させた。

「地元食材をPRできれば」と、前橋市にある中央農業大学の主催するお弁当コンテストに応募。地元木材の曲げわっぱに詰めた弁当の写真や、レシピ、PRポイントなどを書いた書類を送り、昨年十二月に全国の四百八十二点から優秀賞に選ばれた。

石山さんは「一年間頑張って、最終的に努力が実ってうれしい」と笑顔を見せ、松瀬さんは「イタドリは食べたことがないような食感。独特な味ではないのでいろんな料理に合う」とアピールした。

二人は二十五日、町役場で向井裕明町長らに受賞を報告。

向井町長は弁当やイタドリのジャムを使ったミルクレープを試食し、「味も見た目も地元を感じられて良い。おいしかった」と絶賛。「皆さんの活躍が町民の励みになる」と感謝していた。

地元食材を使った弁当を開発した石山さんと松瀬さん＝南木曾町役場で

